

理工学研究科ディプロマ・ポリシーに基づき、必修科目と選択科目から構成される授業科目群を配置する。

数理科学専攻

- ・ 研究室における個別的指導をカリキュラムの核とする。個別的指導を通じて、自然科学および社会科学への応用までを目指した数理科学の基本的な理論や知識を修得させるため、数理科学基礎研究 12 単位を必修科目として配置する。また、文献演習 4 単位を必修科目として配置し、学術論文の読み方、専門情報の収集法、学術雑誌の投稿論文の書き方等についての指導を行う。これらに加え、数理科学分野における幅広い知識ならびに最新の研究についての知識の修得のために、相当数の講義科目を配置する。

物理学専攻

- ・ 研究室における個別的指導をカリキュラムの核とする。先端的研究に取り組むことを通じて、現代物理学の重要な概念を理解させ、自然現象への物理学的アプローチの方法、論理的思考方法、ならびに実践的な研究能力を修得させるため、特別実験及び演習 12 単位を必修科目として配置する。また、文献演習 4 単位を必修科目として配置し、学術論文の読み方、専門情報の収集法、学術雑誌の投稿論文の書き方等についての指導を行う。これらに加え、物理学の多様な分野に関する専門的知識を修得し、それを応用する能力を身につけさせるため、相当数の講義科目を配置する。

化学専攻

- ・ 研究室における個別的指導をカリキュラムの核とする。個別指導を通じて研究課題の立て方の理解、研究を推進する能力、センス等を育成するために特別実験及び演習 12 単位を必修科目として配置する。また、文献演習 4 単位を必修科目として配置し、学術論文の読み方、専門情報の収集法、学術雑誌の投稿論文の書き方等についての指導を行う。これらに加え、高度な化学知識と最新の研究手法を修得させるために、相当数の講義科目を配置する。

生命科学専攻

- ・ 研究室における個別的指導をカリキュラムの核とする。個別指導を通じて研究を推進するための能力を育成するため、特別実験及び演習 12 単位を必修科目として配置する。また、文献演習 4 単位を必修科目として配置し、学術論文の読み方、専門情報の収集法、学術雑誌への投稿論文の書き方等についての指導を行う。これらに加え、高度な生命科学の知識並びに最新の研究手法に関する知識を修得させるために、相当数の講義科目を配置する。

情報科学専攻

- ・ 研究室における個別的指導をカリキュラムの核とする。個別指導を通じて、健全な情報化社会の構想の立案に資する研究課題の立て方の理解、研究を推進する能力、センス等を育成するために特別実験及び演習 12 単位を必修科目として配置する。また、文献演習 4 単位を必修科目として配置し、学術論文の読み方、専門情報の収集法、学術雑誌の投稿論文の書き方などについての指導を行う。これらに加え、情報科学分野の知識・見識の修得と専門的な思考力の養成を目的として、相当数の講義科目を配置する。

人間システム工学専攻

- ・ 研究室における個別的指導をカリキュラムの核とする。個別指導を通じて、人を中心とした新しいシステムを創出する人間システム工学に関連した研究課題の立て方の理解、研究を推進する能力、センス等を育成するために特別実験及び演習 12 単位を必修科目として配置する。また、文献演習 4 単位を必修科目として配置し、学術論文の読み方、専門情報の収集法、学術雑誌の投稿論文の書き方などについての指導を行う。これらに加え、幅広い人間システム工学分野の知識・見識の修得と専門的な思考力の養成を目的として、相当数の講義科目を配置する。